
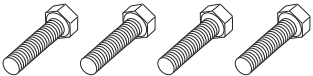


この度は、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この「取付説明書」をよくお読みの上、正しく安全に作業を実施してください。また、取り付け上の理由、要因により発生した事故やトラブル、製品不具合等については、弊社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。本説明書は、製品を取り付けたあとも大切に保管してください。

注意事項 **▲注意** 必ずお守りください!

1. 指定車種以外への取り付けは絶対に行わないでください。製品の破損や車両事故を起こす原因となります。
2. 本製品の分解や加工等は絶対に行わないでください。製品の破損や車両事故を起こす原因となります。
3. 水平な場所で輪止め等を使用して車両を確実に固定したうえで作業を行ってください。車両が動き出し事故を起こす原因となります。
4. エンジンを停止し、エンジンキーを抜いて作業を行ってください。
5. エンジンが十分に冷えていることを確認してから作業を行ってください。事故や火傷を起こす原因となります。
6. 安全の為、バッテリーマイナス端子を外して作業を行ってください。尚、バッテリーのマイナス端子を取り外すと盗難防止の安全装置等が作動する車両があります。車両マニュアルや車両整備書に従って作業してください。
7. エンジンを始動する場合は、換気の良い場所で行ってください。排気ガスにより一酸化炭素中毒になる恐れがあります。
8. 本製品の取り付けは、整備資格を有する工場やプロショップ、又は整備資格を持った方をお願いしてください。
9. 点火時期やブースト、燃調等を変更している車両は、本製品装着後に再調整を行ってください。エンジンが破損する原因となります。
10. 本製品はエンジンの不調を補修するものではありません。取り付け前にエンジン作動が正常であることを確認し、不具合がある場合は修理をしてから本製品の取り付けを行ってください。
11. 本製品に異常があった場合は、本製品の使用を止め、お買い上げの販売店、または弊社までお問い合わせください。

構成部品

① イグニッションコイル x4 	② パワーイグナイター x1 	③ コイルブラケット R x1 	④ コイルブラケット L x1 
⑤ イグナイターブラケット x1 	⑥ ワイヤハーネス x1 	⑦ スパークプラグワイヤー x4 	⑧ 六角ボルト (M6x30) x4 
⑨ 六角ボルト (M6x20) x2 	⑩ 六角穴付きボルト (M6x20) x4 	⑪ 六角ナット (M6) x6 	⑫ フラットワッシャー (M6) x12 
⑬ スプリングワッシャー (M6) x6 	⑭ 両面テープ x1 		

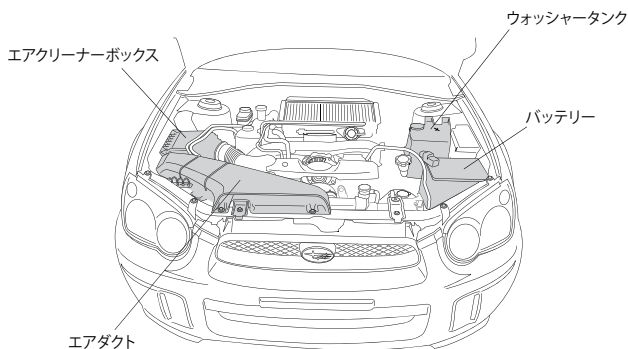
補修部品 (付番は構成部品、取付手順をご参照ください)

付番	品番	部品名	必要数
1	PQG003601R	イグニッションコイル	4
2	PQYU03603R	PQPパワーイグナイター Type-3	1
3	01-BKT-140726	コイルブラケットR	1
4	01-BKT-140725	コイルブラケットL	1
5	03-M-BKT-01090	パワーイグナイターブラケット	1
6	PQWH03602R	ハーネス Assy	1
7	IP-WA36037	GDBスパークプラグワイヤー	4
8	01-B-M6x30	六角ボルト M6x30mm	4
9	01-B-M6x20	六角ボルト M6x20mm	2
10	01-B-H-M6x20	六角穴付きボルト M6x20	4
11	01-B-N-M6	六角ナット M6	6
12	01-B-W-M6	ワッシャー M6	12
13	01-B-SW-M6	スプリングワッシャー M6	6
14	01-M-DST	両面テープ	1
15	01-M-T-8	アース丸端子 8mm	2

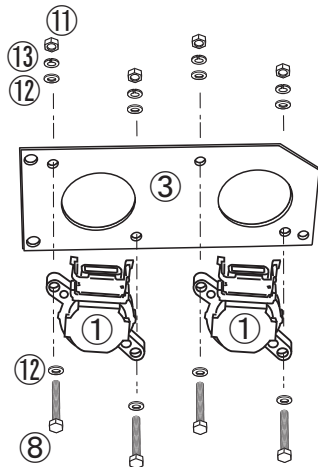
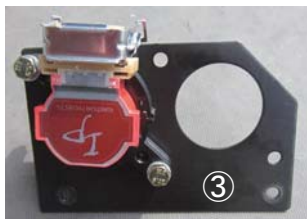
付番	品番	部品名	必要数
16	01-M-T-6	アース丸端子 6mm	1
17	IP-WB36000	GDBスパークプラグブーツキット	4
18	IP-WC00001	コイルソケットブーツ、ターミナルセット	4
19	01-Q-CN-F-005	PQPコイルコネクター3極 Type-2	4
20	01-Q-TE-F-005	PQPコイルコネクターターミナル Type-5	12
21	04-B-0002	PQPコイルコネクターブーツ	4
22	01-Q-CN-M-008	PQP 12極コネクターオス	1
23	01-Q-CN-F-008	PQP 12極コネクターメス	1
24	01-Q-CN-M-006	PQP 16極コネクターオス	1
25	01-Q-CN-F-006	PQP 16極コネクターメス	1
26	01-Q-TE-M-001	コネクターターミナルオス Type-1	13
27	01-Q-TE-F-001	コネクターターミナルメス Type-1	10
28	01-Q-SE-001	ワイヤーシールド Type-1	23
29	01-Q-CP-001	ダミー栓 Type-1	6
30	IP-W100005	汎用スパークプラグワイヤー5M	-

取付手順

1. 安全のため、バッテリーのマイナス端子を取り外してください。尚、バッテリーのマイナス端子を取り外すと盗難防止の安全装置等が作動する車両があります。車両マニュアルや車両整備書に従って作業してください。
2. ウォッシャータンク、エアクリナーボックスを取り外し、イグニッションコイルの取り外し作業ができるようにしてください。必要に応じて、バッテリーも取り外してください。



2. ③コイルブラケットRに①イグニッションコイルを付属の⑧六角ボルト(M6x30)、⑩ナット、⑫ワッシャー、⑬スプリングワッシャーを使用して取り付けてください。



3. タイミングベルトカバーのボルトを取り外して、手順2で取り付けしたコイル & ブラケットを仮止めしてください。後に、⑦スパークプラグワイヤーを取り付けてから本締めします。

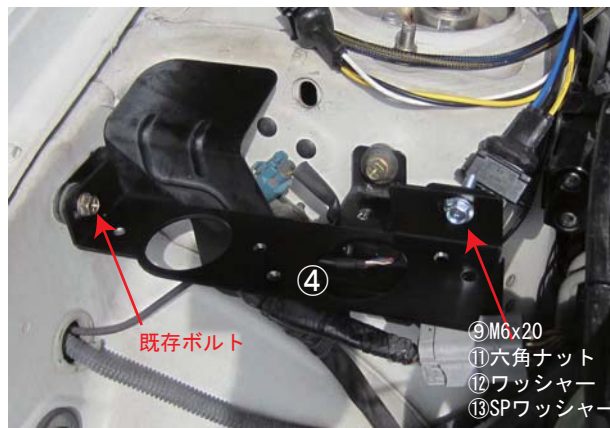


参考図
(見えやすいようにコイルを外しています)

4. RHストラットタワーに付いているソレノイドバルブを固定するブラケットを取り外し、ブラケットに取りまわされている配線を内側、ブラケットとストラットタワーの間に配線し直してください。後に、スパークプラグワイヤーに干渉しないようにする為の作業です。



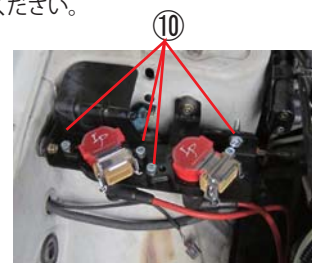
5. 図を参考にして、③コイルブラケットLを取り付けてください。



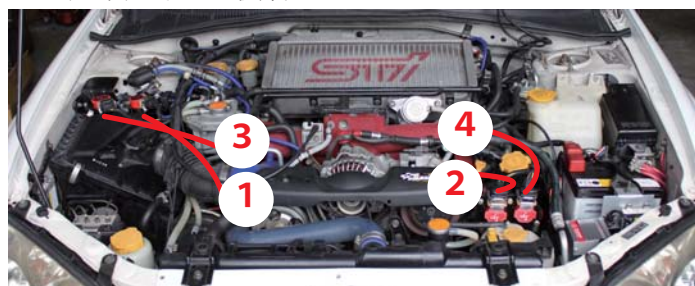
6. 既存のイグニッションコイルを取り外し、⑦スパークプラグワイヤーを取り付けてください。図は運転席側ですが、助手席側も同様に取り付けをしてください。取り外したコイルコネクターは使用しませんので、ビニルテープなどを巻いて保護をし、他の配線などにタイラップなどで固定してください。



7. 手順5で取り付けしたブラケットに①イグニッションコイルを仮置きし、⑦スパークプラグワイヤーを下記「スパークプラグワイヤーの取り回し」を参考に、①イグニッションコイルに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。⑦スパークプラグワイヤーの向きを調整しながら①イグニッションコイルを⑩六角穴付きボルトで固定してください。



スパークプラグワイヤーの取り回し



8. 同様に手順2で取り付けした①イグニッションコイルに、⑦スパークプラグワイヤーを手順7の図「スパークプラグワイヤーの取り回し」を参考に①イグニッションコイルに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。その後、③ブラケットを本締めし、タイミングベルトカバーに固定してください。

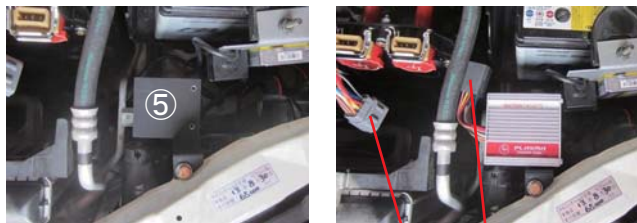


9. ②パワーイグナイターをエンジンルーム内の熱、雨水の影響を受けにくい場所へ設置してください。図は⑤イグナイターブラケット、⑭両面テープを使用して固定した例です。

バッテリーブラケットに⑤ブラケットを使用して固定



ボディに⑤ブラケットを使用して固定



ウォッシャータンクに⑭両面テープで固定

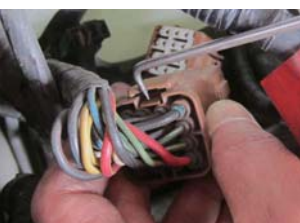


10. バッテリー裏側にある16極コネクタを引き出し、⑥ハーネスを取り付け(割り込ませ)てください。

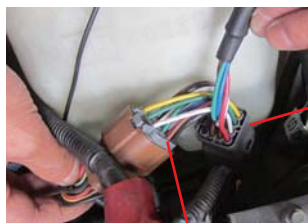
16極コネクタ位置



ピンを押し下げて引き抜きます。



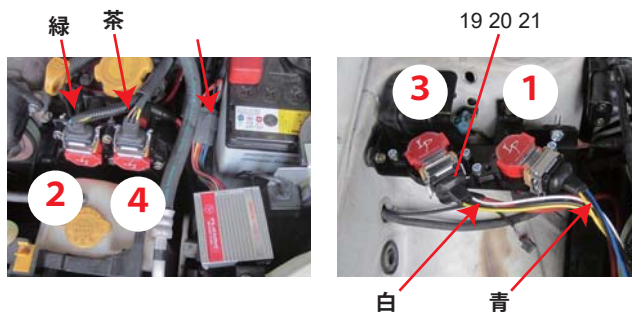
⑥ハーネスを割り込ませます。



24
26
28
29

25 27 28

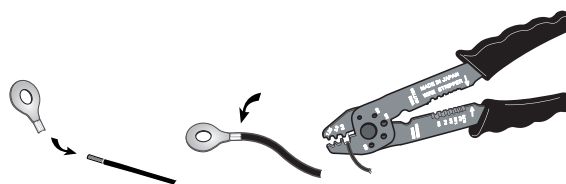
11. ②パワーイグナイター、①イグニッションコイルに⑥ハーネスを取り付けてください。1番、3番イグニッションコイルへまでの配線は、ルクヘッドに取りまわして、熱の影響を受けないようにしてください。エンジンへは配線しないでください。



1番、3番ハーネスの取り回し。バルクヘッドのハーネスに固定。



12. 各アース線の長さを最適な寸法でカットし、⑮アース丸端子8mmをイグニッションコイルアース線に、⑯アース丸端子6mmをイグナイターアース線に取り付けエンジンでください。



13. 各イグニッションコイルのアース線をエンジンに取り付けてください。シリンダーヘッドに接地するのが理想です。ボディには接地しないようにしてください。



14. 同様にパワーイグナイターのアース線をボディに取り付けてください。



14. 手順2で取り外した部品を元に戻してください。
15. 社外ECU装着車でドエルタイムの調整が必要な場合は下記表を参考にしてセッティングしてください。

Dwell Time Setting

V	Dwell time (ms)
9	7.5
10	7
11	6
12	5
13	4
14	3.5
15	3

16. エンジンを始動して異常のないことを確認後、走行テストを行ってください。

配線図

